

① ベンチに入れる指導者の数及びお世話係について

今回の大会よりベンチに入れる指導者・保護者・お世話係は以下のようにする。

ヘッドコーチ 1名・アシスタントコーチ 2名・マネージャー 1名・スコアラー 1名 以上のものはベンチに座ることを許可する。

お世話係 2名は、ベンチに座ることは許されない。選手への指示・指導もできない。

ヘッドコーチ

JBAのコーチライセンスを持っているもの、試合中立ち続けて指揮をとってよい。

審判に話しかける事・アピールすることができる。

アシスタントコーチ

JBAのコーチライセンスを持っているものが望ましいが、無くても構わない但し事前登録がしてあること。選手に指示・指導はできるが、立ち続けて指揮をとったり・審判へのアピールはできない。(テクニカルの対象となる)

コーチが退場したときは、コーチライセンスを持っているAコーチには、コーチと同じ権限が与えられる。コーチライセンスがないAコーチは、立ち続けて指揮をとったり・審判へのアピールはできない。

マネージャー

ベンチ内で選手のお世話 他が行える。座ったまま選手に指示・指導はできるが、立ち続けて指揮をとったり・審判へのアピールはできない。(テクニカルの対象となる)

スコアラー

スコアシートを記入し、TOとの確認を行う。座ったまま選手に指示・指導はできるが、立ち続けて指揮をとったり・審判へのアピールはできない。(テクニカルの対象となる)

② タイムアウトについて

本年度より各Q 1回のタイムアウトが認められる。ただし、1回のタイムアウトは45秒となる。

TOは、審判がタイムアウトをコールしたのち45秒を図り始める。35秒経過したらブザーで知らせる。

45秒経過のブザーが鳴った後にゲームが再開される。

③ 選手の交代について

4Qに限りボールがデッドになった際に交代が認められる。交代は、選手がTOに伝え交代席に座って待機し審判の指示でコート内に入る。TOは、新しく入った選手のみをチェックすれば良い。

④ 4Q、延長時限の残り2分について

第4クォーターもしくは各延長（オーバータイム）残り2分の間で、ボールをアウトオブバウンズからスローインをするときに、まだボールが審判もしくはスローインをするプレーヤーの手にあるときに、コート上のディフェンスのプレーヤーが相手に起こした触れ合いと審判が判断したプレー（ラスト2ミニッツシチュエーション:L2M）オフェンスプレーヤーには、適用されない。

上記のプレイは、テクニカルファールとなり相手にフリースロー1本が与えられる。